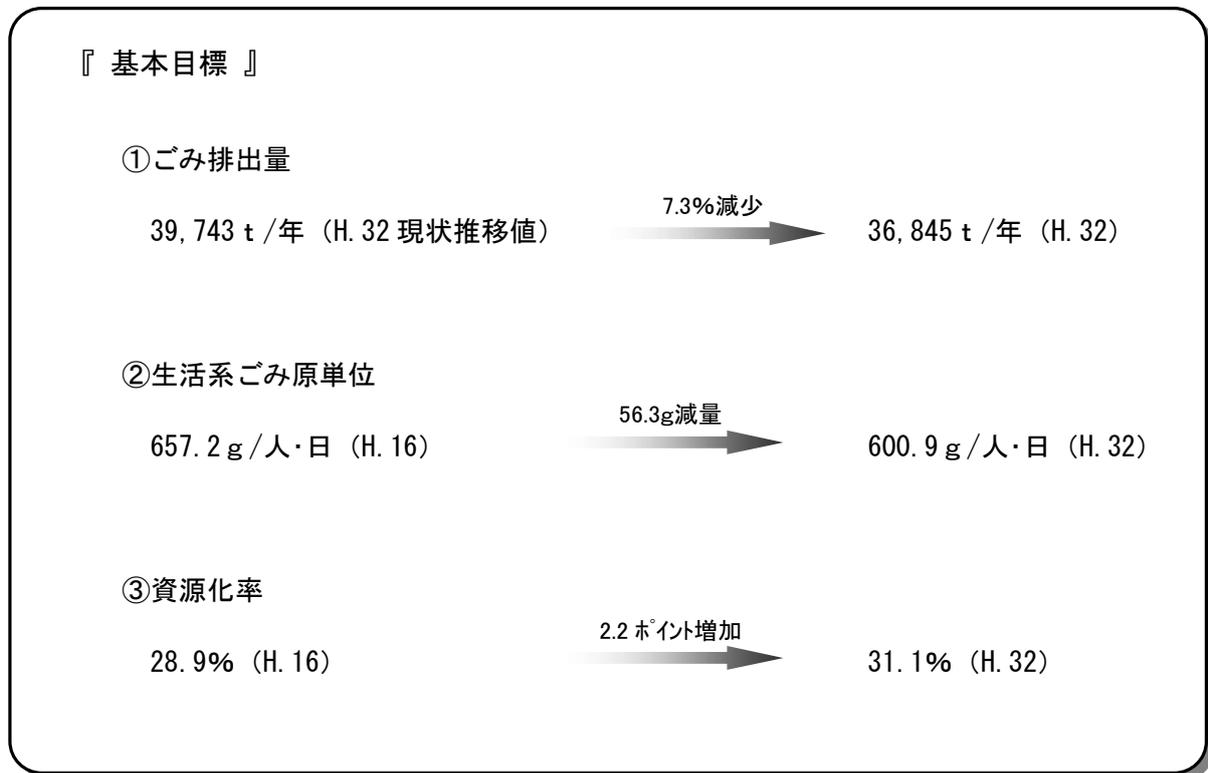


2. 計画の基本目標

（1）基本目標

基本理念の実現に向けて、本計画で目指すべき具体的な目標を以下のように設定します。



（2）推計ケース

将来のごみ排出量の見通しは、施策の実施の有無で大きく2つのケースに分かれます。はじめに、現行施策のみをそのまま継続して実施した場合を「現状推移ケース」とします。次に、現行施策に加えて新規施策を実施した場合を「目標達成ケース」とします。

なお、現状推移ケースにおけるごみ排出量の推計結果は、第3章に示したものとします。

(3) 目標の設定根拠

今後実施していく基本施策による効果を踏まえ、ごみの区分別に達成可能な設定目標及び設定根拠を表4-2に示します。

表4-2 目標の設定根拠

区 分		目標設定根拠	
燃やせるごみ		全体	発生・排出抑制により現状推移値から毎年0.7%ずつ減量 分別徹底により現状推移値から毎年0.4%ずつ減量
		自家処理	電気式生ごみ処理機等での生ごみの自家処理促進により減量
資源ごみ (市回収分)	紙	全体	可燃ごみの分別徹底による減量分を増量
		市収集	店舗回収の促進により、紙のうち牛乳パック分0.05%ずつ減量
		店舗回収	排出量のうち毎年牛乳パック分0.05%ずつを店舗回収に移行
	ペットボトル	全体	可燃ごみの分別徹底による減量分を増量
		市収集	店舗回収の促進により毎年ペットボトル0.5%ずつ減量
		店舗回収	排出量のうち毎年ペットボトル0.5%ずつを店舗回収に移行
	びん	全体	現状で推移
	缶	全体	現状で推移
	プラスチック類	全体	可燃ごみの分別徹底による減量分を増量
	布	全体	可燃ごみの分別徹底による減量分を増量
		市収集	バザー等の促進により、毎年0.5%ずつ減量
		バザー等	排出量のうち毎年0.5%ずつをバザー等に移行
	その他(市)	全体	可燃ごみの分別徹底による減量分を増量
	資源ごみ (集団回収分)	紙類(新聞、雑誌、ダンボール、牛乳パック)	全体
金属類		全体	現状で推移
ガラス類		全体	現状で推移
ペットボトル(集団回収)		全体	可燃ごみの分別徹底による減量分を増量
プラスチック類(集団回収)		全体	可燃ごみの分別徹底による減量分を増量
布類(ウエス)		全体	可燃ごみの分別徹底による減量分を増量
その他(集団回収)		全体	可燃ごみの分別徹底による減量分を増量
燃やせないごみ・粗大ごみ	全体	現状で推移	
事業系ごみ	燃やせるごみ	全体	発生・排出抑制により現状推移値から毎年0.5%ずつ減量
		直接搬入	発生・排出抑制により現状推移値から毎年0.5%ずつ減量
	燃やせないごみ	全体	現状で推移
		直接搬入	現状で推移

(4) ごみ排出量・資源化量の見込み

目標達成ケースにおけるごみ排出量の推計結果を図4-2、表4-3に示します。計画目標年度である平成32年度におけるごみ排出量は、生活系ごみ21,027 t/年、事業系ごみ15,818 t/年で、合計36,845 t/年になるものと見込まれます。平成32年度において現状で推移した場合と比較すると、2,898 t 減量されることとなります。

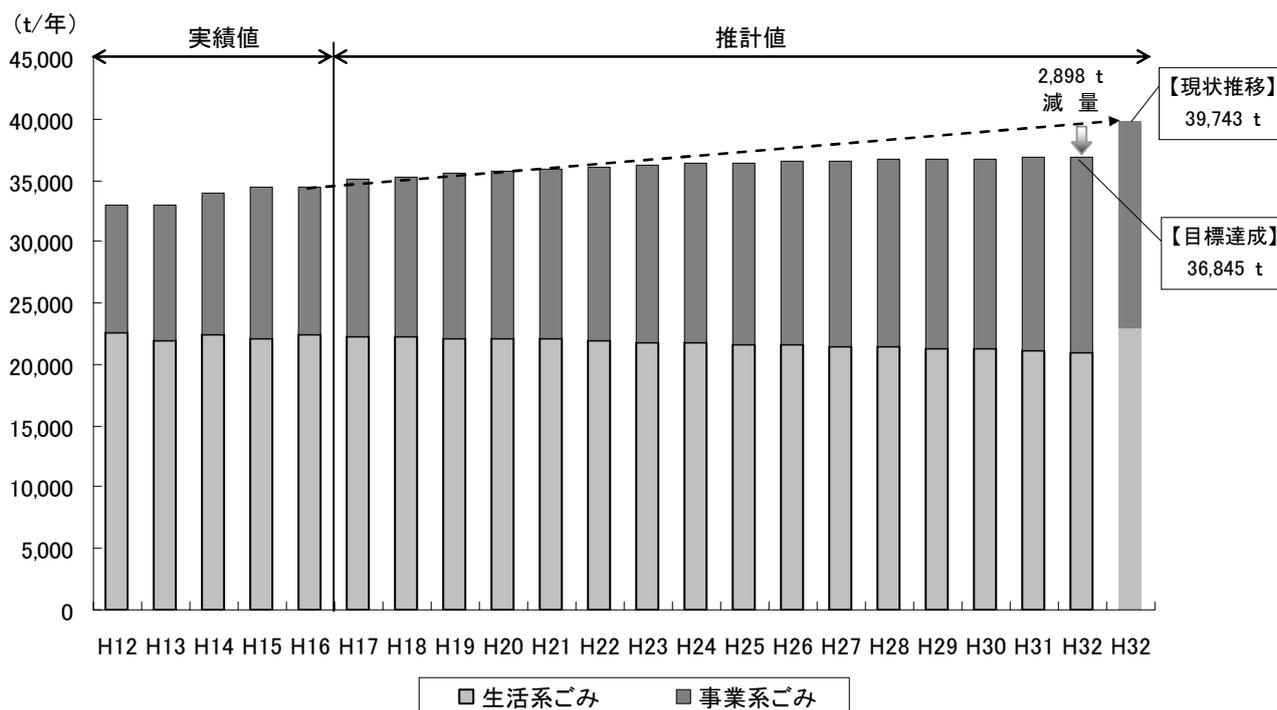


図4-2 目標達成時におけるごみ排出量

表4-3 目標達成時におけるごみ排出量

項目	平成16年度 (実績値)	平成32年度(推計値)			
		現状推移 ケース	対H.16の 増加率(%)	目標達成 ケース	対H.16の 増加率(%)
生活系ごみ (t/年)	22,381	22,906	2.3	21,027	-6.0
事業系ごみ (t/年)	12,055	16,837	39.7	15,818	31.2
総排出量 (t/年)	34,436	39,743	15.4	36,845	7.0

目標達成ケースにおける資源化量の推計結果を図4-3、表4-4に示します。計画目標年度である平成32年度における資源化量は、施設回収分9,125 t/年、集団回収分2,319 t/年で、合計11,444 t/年になるものと見込まれます。平成32年度において現状で推移した場合と比較すると、397 t 増加することになります。

資源化率は、平成32年度において現状で推移した場合が27.8%であるのに対して、目標達成した場合は31.1%となり、3.3ポイント増加することになります。

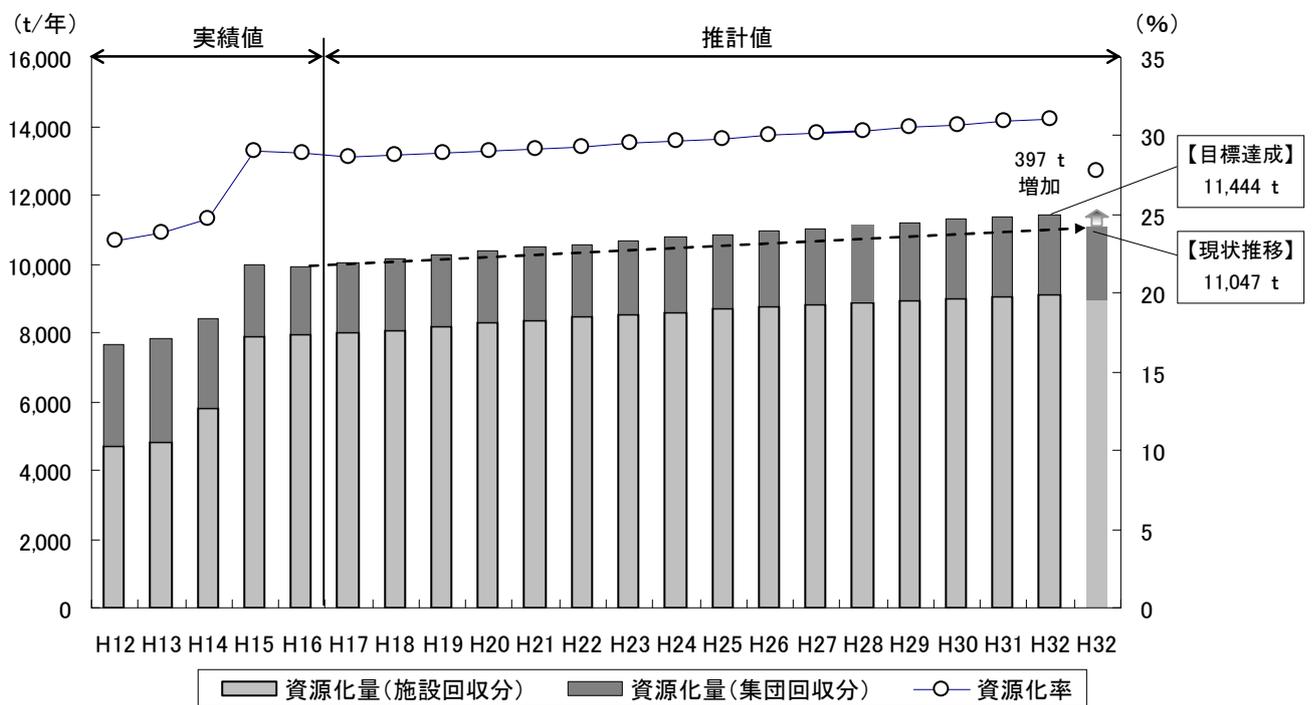


図4-3 目標達成時における資源化量及び資源化率

表4-4 目標達成時における資源化量及び資源化率

項目	平成16年度 (実績値)	平成32年度(推計値)			
		現状推移 ケース	対H.16の 増加率(%)	目標達成 ケース	対H.16の 増加率(%)
資源化量(施設回収分) (t/年)	7,925	8,944	12.9	9,125	15.1
資源化量(集団回収分) (t/年)	2,017	2,103	4.3	2,319	15.0
資源化率 (%)	28.9	27.8	-3.7	31.1	7.6